

亀岡大郎の トップ対談



経済評論家 龜岡大郎氏

■プロフィール
★大正15年京城生まれ。新大阪新聞経済部長を経て経済評論家となる。文芸春秋、サンデー毎日など一連誌で、経済・財界問題を中心に、精力的な活動を続ける一方で「自動車戦争」「ケララ商法」「IBMの人事管理」などベストセラー多数。

隼岡 JMPパートナーズですか。社名からなかなか想像づらいのですが、どんなことをやっているのでしょうか。

望月 収益物件向けのローンや一般的な住宅ローンに関するアドバイスや、ローン借り換えをサポートし、債務圧縮を行っています。現在は、変動で1.5%、固定で2.2%程度の低金利時代なので、今より金利の高い時期に借りたローンから借り換えるすれば、金利が下がる分の差益分を収得できます。その差益分をリフォームや太陽光発電などで、付加価値の得られる投資に回し、収益性を高められるよう支援しています。

鷗岡 だいたいどのくらい差益が得られるのですか。

望月 ケースバイケースですが、支払い利息5000万円の

支払い利息5300万円
圧縮したケースも

**ローン借り換えをサポート
債務圧縮を実現**

圧縮に成功した事例もあり、来の気持ちとの矛盾を感じてい
と相談があり、新たに

にこの日本です。ローン返済に関して情報思っています。

月 た。

ノ借り換えをサポート

債務圧縮を実現

必要性を感じます。
亀岡 ぜひ今後とも頑張ってください。

1972年1月22日生まれ。静岡県静岡市出身。高校時代から起業を志し、20歳のときビジネスローンを手掛けるノンバンクに就職した。債権回収の経験を積み、30歳で本社の債権理務部門の責任者に。35歳で独立し、企業再生・事業再生を行うプロフィットリソースを創業した。その後、住宅ローンの専門家を育成する一般社団法人日本住宅ローン診断士協会の代表理事に就任。診断士の実務機関として今年7月にJMPパートナーズを立ち上げた。

ます。
龜岡 実務教育を兼ねているの
三十。名古屋二三二二六

戸内にはアパートの
のサイトを新設予定です。

資) けや収支計画だけでなく、
家主の財産管理全体を担うので
す。

JMF ハートナース（東京都港区）
望月保秀社長（41）

不動産投資用ロードインや住宅ローンの借り換えをサポートし、支払利息分の債務圧縮を実現する「MIP」パートナーズ（東京・横浜）が、債務圧縮分でリフオームや太陽光発電事業などの付加価値投資も提案している。債権回収のスペシャリストとして東西奔走した経験を経て、債務者サポート事業に情熱を注ぐ望月保秀社長に話を聞いた。

時代の流れに合った ビジネスモデルをつくる

望月 実は、いざれ相続対策を含めたサポートもできれば、どう思ひはうつましく。手が

会社概要	
会社名	株式会社 J M P パートナーズ
代表者	望月保秀
所在地	東京都港区赤坂2-16-5 B5 赤坂ビル 2階
資本金	300万円
創業年月	2013年7月
事業内容	ローンコンサルティング、リフォーム、低炭素 促進商品（太陽光発電等）販売